

気象庁における漂流・漂着ゴミ問題に関連する取組

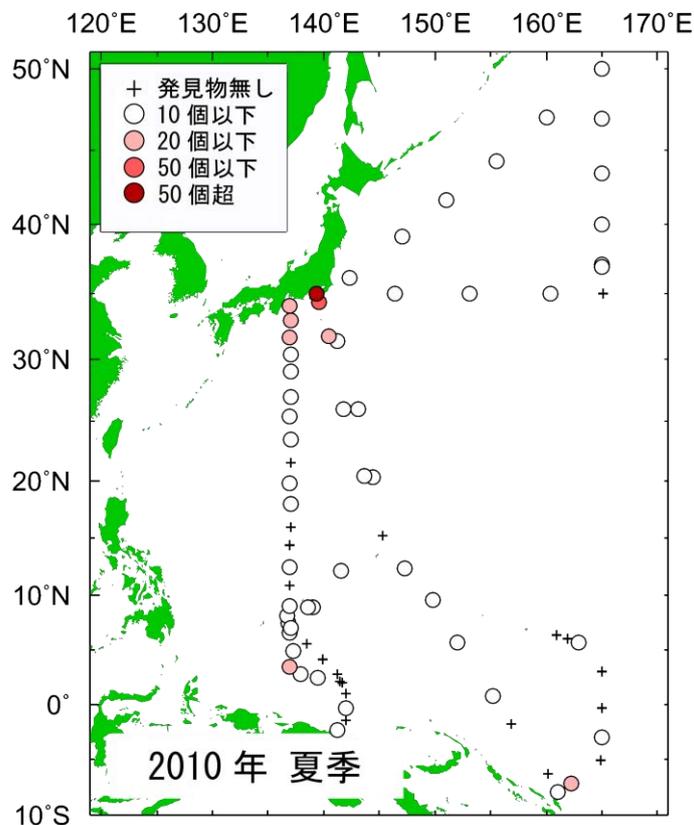
日本周辺海域及び北西太平洋の浮遊プラスチック類の監視

1. 取組の概要

- 日本周辺海域及び北西太平洋の定まった航路上（観測定線）を運航する海洋気象観測船によって、1977年から、浮遊プラスチック等の海上漂流物の目視観測を実施。
- 観測した浮遊プラスチック等の海上漂流物の分布、種類、浮遊数の経年変化などを、気象庁のホームページなどで公表。

2. 平成23年度の予定

- 平成23年度は、季節ごとに日本周辺及び北西太平洋の観測定線で、浮遊プラスチック等の海上漂流物を目視観測する予定。
- この観測は、海洋汚染防止のため、「海洋バックグラウンド汚染観測」業務の一環として実施。



観測定線と発見したプラスチック等の漂流物の数（100kmあたり）